

学校名	福島県立相馬養護学校	校長	須田 康仁
住 所	相馬市中村字本町 1 3 2 番地の 1		
T E L	0244-35-5506	ホームページアドレス	http://www.soma-sh.fks.ed.jp/

～地域で、「つなぐ・つづける・つみあげる」 共に学び、共に生きる～



取組の概要

相馬養護学校では、40年を超える地域に根ざしてきた歴史と教育活動の成果をつなげ・つづけて、新たなニーズに応じた取組をつみあげようと、昨年度からタブレット端末を活用した地域との連携事業を行っています。小学部では、交流及び共同学習で、中学部・高等部では産業現場等における実習で、児童生徒一人一人のニーズに合わせて端末を活用し、「相馬の地で、共に学び、共に生きる教育」をめざして推進しています。

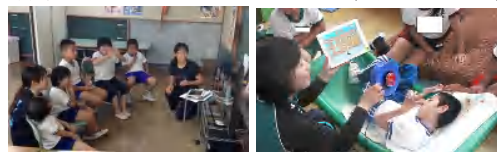
内 容

～児童生徒一人一人のニーズに応じたICT教育の推進を新たに『つみあげる』取組～

【福島県学術振興財団助成対象事業2年目の取組】

本校では、学校経営・運営ビジョンで「つなぐ・つづける・つみあげる」を柱として、昨年度から、「つみあげる」の取組で、タブレット端末（※以下：端末）の活用を中心としたICT教育を推進しています。

小学部では、学校間交流・居住地校交流及び訪問教育児童との交流において、端末でメッセージVTRを交換し合ったり、当日の活動でアプリケーションを利用したり、さらにテレビ電話で訪問先の児童と校内の児童・小学校児童との交流を行ったりして、児童一人一人が自分の方法で友達のやりとりを楽しみながふれ合いを広め、深めている姿が多く見られるようになりました。



【小学部交流会：事前学習と当日の様子】

中学部・高等部では、「総合サービス班」の設置や新たな作業内容の開拓・実施など、社会情勢や生徒一人一人のニーズに応じた「作業学習・産業現場等における実習（※以下：実習）」を行っています。今年度は実習時における端末の有効活用を試みました。実習先で、生徒の作業学習の様子を記録した端末を見てもらいながら打合せをしたり、環境・作業の様子を端末に記録し、事前学習で生徒に見せて見通しにつなげたりしました。実習中も取組の様子を端末で写真・VTRで記録し、生徒がすぐに自身の様子を振り



【中学部・高等部：実習中と事後報告会の様子】

り返って反省することができるようにしたり、実習後の報告会で編集した映像を全体で見ても、称賛を受けて自己肯定感を高めたりすることができるよう活用しました。

今後もさらに学校全体として、一人一人の児童生徒に応じたICT教育の推進に努めていきたいと考えております。各学部の詳しい取組は本校Webページ【タブレット端末を活用した連携事業】をご覧ください。